

みんなで拓げる木づかいプロジェクト 成果発表会

渡島管内では、道南スギをはじめとする地域材の多くが道外へ出荷されている状況にあり、地域での消費拡大を図ることが急務となっています。当プロジェクトでは、地域材を活用した木製品の利活用に向けた課題に学生等と協働で取り組んでおり、その成果を発表いたします。

2024年3月14日 木 13:30~17:00(受付 13:00~)

●開会式
13:30-13:35

第一部

みんなで拓げる木づかいプロジェクト成果発表
13:35-15:05

1. 令和2年度「函館西部地区から拓げるオープンスクール」

▶木づかいプロジェクト検討委員会委員 目黒 さおり 氏
(株式会社 平野建業 CTO)



2. 令和3年度「未来を拓くプロジェクト」

▶北海道教育大学附属特別支援学校 教諭 加藤 順也 氏
教諭 長瀬 裕明 氏

3. 令和4年度「北海道森高等学校

『学校木質化プロジェクト』ワークショップ」
▶北海道森高等学校 教諭 畠山 悟子 氏



4. 令和5年度

「渡島『HOKKADO WOOD BUILDING』普及
プロジェクトチームについて」

▶渡島『HMB』普及プロジェクトチーム
会長 高田 傑 氏



コア タイム

展示発表
15:05-15:25

▶令和2年度~令和5年度の
製作物を展示



第二部

トークセッション

15:25-16:55

地域材の利用と 渡島地域における可能性について

司会▶高田 傑(木づかいプロジェクト検討委員会 委員長)
(高田傑建築都市研究室 主宰)

パネリスト▶若杉浩一(武蔵野美術大学 教授)

- ▶桂 充子(北海道芸術デザイン専門学校 教員)
- ▶目黒 さおり(木づかいプロジェクト検討委員会 委員)
- ▶加藤 順也(北海道教育大学附属特別支援学校 教諭)
- ▶長瀬 裕明(北海道教育大学附属特別支援学校 教諭)

●閉会式
16:55-17:00

◎会場:渡島総合振興局3階講堂

(函館市美原4丁目6番16号)



◎主催:木づかいプロジェクト検討委員会、北海道渡島総合振興局

◎申込方法:二次元コードから、またはメール、FAXに

下記必要事項を記載の上、お申し込みください。

- ・必要事項:①所属/②役職・氏名/③所属住所/④電話番号/
⑤メールアドレス ※一般の方は、住所にお住まいの市町村名のみ記載願います。
- ・申込先:渡島総合振興局産業振興部林務課林務係

E-mail: oshima.rinmu15@pref.hokkaido.lg.jp

FAX: (0138) - 47 - 9209

◎お問合せ先: TEL: (0138) - 47 - 9471 (直通)

申込期限: 3月12日(火) コチラからお申込みできます→



— プロフィール —

【司会】

■高田 傑 氏（高田傑建築都市研究室 主宰）【木づかいプロジェクト委員長】



北海道北斗市出身。1998年 東京芸術大学美術学部建築科卒業、2000年同大学院美術研究科建築設計専攻修了後、(株)山本理頭設計工場に勤務し、公立はこだて未来大学研究棟などを担当。2005年から東京芸術大学美術学部建築科 助教。2011年より北斗市に帰郷し現職。武蔵野美術大学非常勤講師、森町モデル推進協議会委員長、北海道立北の森づくり専門学校森町地域サポート部会委員長。2011年「T邸」木材活用コンクール特別賞。2015年 函館駅前広場イルミネーション業務プロポーザル最適提案者。2016年「M邸」第21回函館市都市景観賞。2023年「株式会社ハルキ事務所棟」第36回北海道赤レンガ建築奨励賞。建築による地域コミュニティの復興や域内経済の好循環、地球環境の再生を目指し奮闘中。

【パネリスト】

■若杉 浩一 氏（武蔵野美術大学 教授（造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科））



熊本県天草郡出身。1984年九州芸術工科大学芸術工学部工業設計学科卒、プロダクトデザイナー。株式会社内田洋行入社、デザイン、製品開発と研究開発を行う。一方で、デザインの社会的意義を求め、2002年から、私的活動で地域や社会のデザインを実践。「日本全国スギダラケ倶楽部」を設立。現在設立22年、27支部、会員数2400名に達する。2019年4月、武蔵野美術造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科の教授として着任。地域社会とデザインの未来を模索し、実践、研究している。

■桂 充子 氏（北海道芸術デザイン専門学校・クラフトデザイン専攻教員）



1991年北海道教育大学札幌校特設美術科卒業。北海道芸術デザイン専門学校・クラフトデザイン専攻教員、北海道美術協会会員、木育マスター。美術の中でも彫刻が専門。卒業後は流通会社に勤務ののち、2000年より専門学校時間講師を経て専任として勤務。現在は学校の仕事のほか、木育活動として、子どもたちへのワークショップを専門学生とともに活動。また美術館主催の造形教室の講師を務めることもあり、美術とものづくりとを様々な世代に楽しんでもらうよう取り組んでいる。2016年には「木づかい project 学生20人のアイデア!道南杉とトドマツの手作りの品」にてウッドデザイン賞を受賞。

■目黒 さおり 氏（株式会社平野建業 CT0）【木づかいプロジェクト委員】



株式会社平野建業 取締役、道南森づくりの会 副代表、Seeds&Soil 代表、木育マスター。(株)平野建業に勤務し、設計や現場管理業務を担当。木づかいプロジェクトの活動を通して、地域の木材の可能性を考えるきっかけから木育マスターに。その後環境保全型の「自伐型林業」を学び、現在は(株)平野建業に林業部を立上げ建設業の傍ら林業家として作業道敷設や森林整備活動も積極的に行っている。道南スギや地域の広葉樹、森林を身近に感じてもらうために、Seeds&Soilの名で「森の素材のお店」と称して木工製品や苔ボトルなど製作し道南地域を中心にマルシェに出店。令和4年から(株)平野建業の事務所に併設した店舗もOPENした。

■加藤 順也 氏（北海道教育大学附属特別支援学校 教諭）



北海道旭川市出身。2014年北海道教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻学校教育専攻修了後、北海道森高等学校で勤務し、2017年より北海道教育大学附属特別支援学校で高等部の教育に従事。2019年より同校の作業学習(木工班)で高等部生徒と木工作業に取り組む。一般社団法人日本LD学会会員、日本K-ABCアセスメント学会会員、一般社団法人日本特殊教育学会会員、北海道特別支援教育学会会員。座右の銘は「できるかできないかじゃない、やるかやらないか」。主要論文に「知的障害児教育における目標志向性の変化へ向けた介入と効果」、「知能のCHC理論と臨床活用へ向けた考察」。

■長瀬 裕明 氏（北海道教育大学附属特別支援学校 教諭）



北海道旭川市出身。2007年北海道教育大学札幌校特別支援教育特別専攻科修了後、北海道伊達高等養護学校、伊達市立星の丘中学校で勤務をしながら伊達市教育委員会新就学担当コーディネーター、伊達市特別支援教育推進委員会教育部長を経て、2021年より北海道教育大学附属特別支援学校で高等部の教育に従事。同年より同校の作業学習(木工班)で高等部生徒と木工作業に取り組む。現在は道徳教育推進に従事。座右の銘は「大丈夫、心配するな、なんとかなる」主要論文に「特別支援学校におけるカリキュラム・マネジメント方法の開発と効果」。